

社協だより

社協会費にご協力をお願いします

☆「社会福祉協議会(社協)」とは？

地域で起こるさまざまな福祉課題を地域全体の課題としてとらえ、皆様と一緒に考え、話し合い、保健・医療・福祉等の関係者、行政機関の協力も得て解決を図ることを目的とした**民間の福祉団体**です。

また、社会福祉法に定められた団体で、公益性の高い活動を行っています。

☆社協を支えている財源

公的財源：豊田市、県社協等からの委託料・補助金

民間財源：皆様から寄せられた**会費**・
寄付金・共同募金配分金、在宅介護サービス収入

○皆様から寄せられた会費の主な使い道

- * 自治区や地区コミュニティ会議など地域福祉活動への助成
 - * 地域福祉活動計画の実践
 - * 結婚相談・心配ごと相談・法律相談などの各種相談事業
 - * 市内のボランティア活動を推進するボランティアセンター活動事業
 - * 市内に住民票のある85歳以上の方への長寿祝品の贈呈
 - * 一人暮らし高齢者世帯等への消火具支給
 - * 小・中・高校の福祉教育の応援
 - * 車いす・車いす用福祉車両の貸出
- その他、社会福祉協議会が行う事業に活用させていただきます。

○会員区分や金額について

左記のような社協の活動にご賛同いただける場合には、ぜひ会員としてご協力をお願いいたします。

- * 普通会员：300円以上1,000円未満
(300円未満は協力費として受領させていただきます。)
- * 賛助会員：1,000円以上
- * 施設会員：2,000円
- * 団体会員：2,000円
- * 法人会員：一口3,000円



こども園でボランティア体験する生徒の様子

- ご協力は強制ではありませんが、本会の地域福祉活動にご理解を賜り、ご協力をお願いします。
- ご協力いただいた会費は、所得税法第78条の寄附金控除の対象となり、「個人領収書」により、税制上の優遇措置が受けられます(詳細は税務署等にご確認ください)。
- 個人領収書をご希望の方は、事前に総務課までお問い合わせください。 総務課 34-1131
- 普通会员・賛助会員世帯が火災等により被災された場合には、会員見舞金を加算します。

思いやり いつでもどこでも 誰にでも



平成27年度 事業計画及び収支予算の概要

豊田市社会福祉協議会は「地域福祉の推進組織」として「住民主体」の原則を元に、「ともに支えあい、助け合えるまちづくり」を、住民とともに進めます。

◇ 地域福祉の推進(2億2,175万円)

◆地域福祉活動計画の実践・推進

住民が主体となった「住民懇談会」の開催や「地区別の福祉計画」の策定支援などを中心に、平成26年度に策定した「地域福祉活動計画(=住民による住みよいまちづくり計画)」を実践・推進します。



豊田市地域福祉計画
豊田市地域福祉活動計画(表紙)



福祉教育セミナーの様子

◆住民福祉教育(学習)の支援・推進

福祉に関する、子どもたちの学びや地域住民に対する生涯学習の支援など、「福祉教育」を推進します。

- ・「(仮)とよた市民福祉大学」の開講・運営
- ・障がい理解のための実践教室(小・中・高校)
- ・福祉教育セミナーの実施
- ・「出前講座」等の開催・協力 など

◆地域ふれあいサロンの支援・推進

住民同士がアイデアを出し合いながら「生きがいづくり」「健康づくり」などを通して、世代の枠を越えて気軽に集える場所や、仲間作りを応援します。自分の住み慣れた地域でいつまでも健やかに、安心して暮らしていける街づくりのための住民活動を支援・推進します。

◆災害ボランティアコーディネーター育成講座の開催、コミュニティ会議福祉部会への支援 など



ふれあいサロンの様子

◇ 相談・支援体制の充実(2億3,393万円)

多様化する個別課題や生活課題を地域の課題として捉え、地域社会やボランティアなどと連携しながら市民ニーズに合った課題解決への取組みをします。

◆障がい者の地域生活支援の充実

障がいのある方が、地域の中で、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、福祉サービス利用に関する相談や調整を行います。

◆地域包括支援センター

高齢者の生活や福祉サービス利用に関する相談や調整を行います。

◆基幹包括支援センター(地域包括支援センターの支援)

◆生活相談支援の充実

高齢者・障がい者の方々や生活に困窮している方の相談を一体的な窓口で受け付けます。誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活を続けられるように、福祉サービスの利用などに関わる相談やお手伝い(援助)、家計の再建に向けた相談、福祉資金の貸付などを行って生活を支援します。

◆一般相談窓口の充実(心配ごと相談、法律相談、結婚相談)

生活上の相談に無料で応じ、課題解決のために専門機関等と連携して助言します。



◇ 在宅福祉サービスの充実(8億299万円)

- ◆利用者ニーズと経営感覚のバランスの取れた質の高いサービス提供と経営の安定
- ◆地域活動支援センターの充実(障がい者就労支援の促進)
- ◆はつらつクラブの地域展開への取り組みと定着
- ◆介護保険・障害者総合支援法等の事業
居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業、障がい者(児)居宅介護等事業、生活介護・地域生活支援デイなど、各種サービスの提供を行います。



◇ 経営基盤の強化(9,514万円)

地域住民に本会の事業や存在意義を広く周知し、自主事業の財源となる会費、共同募金の増額を目指します。また、積立金などの充当計画を策定し自己財源の有効活用を図ります。

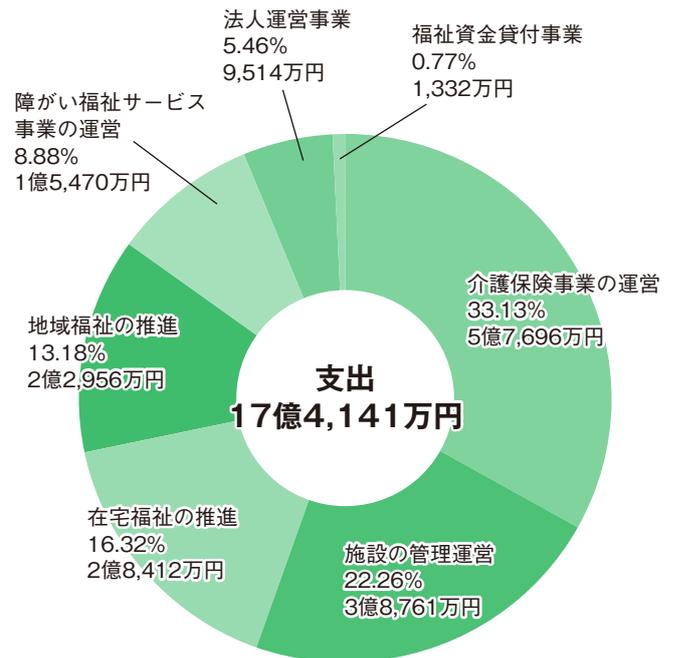
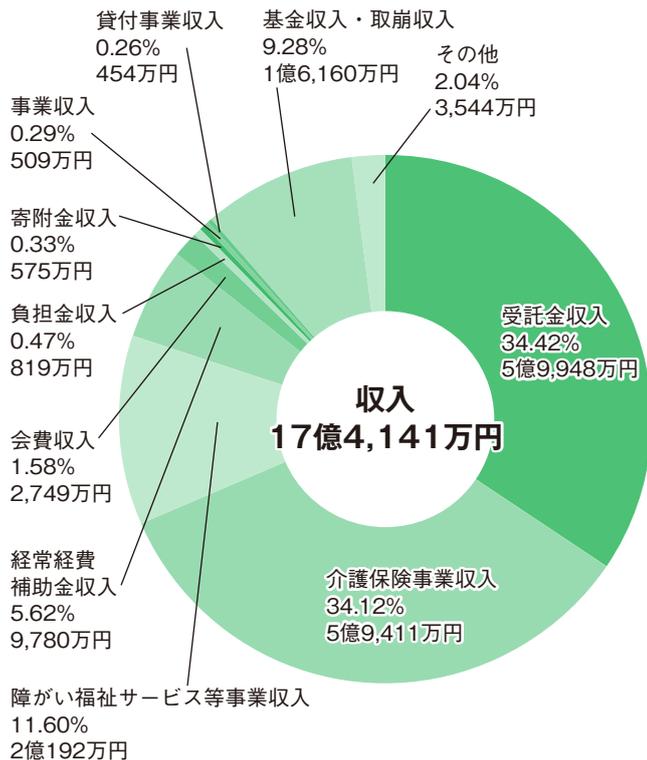
◇ 指定管理の充実(3億8,760万円)

- ◆指定管理施設
豊田市福祉センターや障がい者総合福祉会館をはじめ、本会の各支所を拠点に総合的にサービスの提供を行います。
各種サービス等の問合せに関しては、下部に記載してあります。



◇ 収支予算 総額17億4,141万円

※内部の資金移動分を除く



[単位未満は端数調整を行っています]

【豊田市社会福祉協議会連絡先一覧】

- | | | | |
|---------------|---------|-------------|---------|
| ●総務課 | 34-1131 | ●地域福祉課 | 31-1294 |
| ●地域福祉サービスセンター | 32-4341 | ●基幹包括支援センター | 63-5279 |
| ●障がい者総合福祉会館 | 34-2940 | ●豊寿園 | 27-2200 |
| ●旭支所 | 68-3890 | ●足助支所 | 62-1857 |
| ●稲武支所 | 82-2068 | ●小原支所 | 65-3350 |
| ●下山支所 | 90-4005 | ●藤岡支所 | 76-3606 |

皆様からの会費で児童・生徒への福祉教育を推進しています!!

豊田市社会福祉協議会では、障がいをもった方や、ご高齢の方など様々な方が暮らしている地域社会で、「ともに生きる」明るい社会をみんなの手で作るために福祉教育の推進にも力を入れています。

市内の小・中・高等学校を対象に、児童・生徒が障がいをもつ方やその保護者から話を聞いたり、交流したり、「車いす・手話・要約筆記・点字・視覚障がい者ガイドヘルプ体験、高齢者擬似体験」などの体験をしたりすることで、福祉との関わりを日常的な実践活動へと広げていく契機とするために、『障がいを理解するための実践教室』を開催しています。

平成26年度は市内の小・中・高等学校で合計107回の実践教室を実施しました。



車いす体験による肢体不自由の理解



ガイドヘルプ体験による視覚障がいの理解



高齢者擬似体験による加齢の理解

シルバー人材センター会員募集

- ◆豊田市在住、満60歳以上で、健康で働く意欲のある方
- ◆センターの仕組みや主旨にご理解をいただいてから入会となります。

公益社団法人豊田市シルバー人材センター

本所 豊田市喜多町6丁目61番地1 ☎31-1007

足助支所 ☎62-2166 稲武支所 ☎82-3000 小原支所 ☎66-0220

下山支所 ☎91-1221 藤岡支所 ☎76-2949

※お問い合わせは、お近くの本・支所へ【午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日は休み)】

※お仕事のご依頼、ご相談もお待ちしております。



ご寄付ありがとうございました

【平成27年3月1日～平成27年3月31日までの寄付者一覧】順不同、敬称略。

〈市社会福祉協議会への寄付〉

磯谷公明、築瀬国男、ユニー(株)小さな善意で大きな愛の輸運動アピタ元町店、豊田市高年大学六期生六三四会、おきがる講座、梅田康司、愛知県立豊野高等学校、豊田柴田工業松田一雄、岡本修司、愛知県立足助高等学校、法雲寺ボランティア、豊田市高年大学十期匿名

〈豊田善意銀行への寄付〉

トヨタテクニカルディベロップメント、あすて善意の箱、豊田信用金庫本店善意の箱、豊田市高年大学第3期文化工芸学科クラス会、丸和電子化学(株)黄レンジャーサークル、永田歌謡教室、加藤精一、市内公共施設善意の箱、社協管理施設善意の箱

※この他にも匿名で多くのご寄付をいただきました。

義援金へのご協力ありがとうございました

【平成27年3月1日～3月31日に本会窓口で受付けた義援金：東日本大震災義援金、平成26年7月南木曾町大雨災害、平成26年京都府および兵庫県丹波市大雨災害、長野県神代断層地震義援金】順不同、敬称略。掲載名及び送金先は、寄付者の意向に準拠しています。豊田市立足助中学校、笑いヨガのんちゃん、大豊工業ボランティア委員会、さとの声、豊田市ジュニアマーチングバンド、小坂洋子、豊田市立崇化館中学校
※この他にも匿名で多くの義援金をいただきました。

東日本大震災義援金協力実績(平成27年3月31日現在)

金額：134,271,479円

【東日本大震災義援金について】日本赤十字社では平成28年3月31日まで期間を延長して募集しています。詳しくは、日本赤十字社または本会総務課までお問合せください。